



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

# 学校だより

令和6年1月9日  
東京都立羽村特別支援学校長  
外山 裕介



## 新年あけまして おめでとうございます

「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。これは、“一年のことは、年の初めの元日に計画を立てて行うのがよい” “物事は初めが大事である”という意味です。皆様におかれましては、年の初めに『今年の目標』は立てられましたでしょうか。大げさなことでなく、ちょっとしたこと、例えば「元気に挨拶する」とか、「なるべく身体を動かす」など、年の初めに、少し意識することができれば、きっと新たな気持ちで一年が過ごせるきっかけとなります。まだまだ、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など、一部地域では猛威を振っているという話も聞かれるところです。本校では、登校時の手指消毒をはじめ、手洗いや授業における接触、教具の共有を避けるなど、感染症対策を意識した教育活動をすすめてまいります。御家庭におかれましても、引き続き感染症対策を行っていたいただき、健康で充実した一年を過ごせるようにしてください。

新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となりますよう御健康と御多幸をお祈り申し上げます。



## 本校、50歳のお祝い

令和5年12月20日(水)に、本校の「50周年記念式典」を執り行いました。PTAの方々の御支援をいただき、滞りなく執り行うことができました。保護者の皆様の御理解と御協力に感謝いたします。ありがとうございました。

外山校長は、よく「節目で人は成長する。」という話をされます。2学期末の終業式でも、児童・生徒に向けて「節目」という話をされ、子供たちは真剣に、また興味をもって聞いていました。本校の「50周年」という節目も、成長の機会(チャンス)であると言えます。これまで御尽力いただいた先生方や先輩方の歩んだ道のり・歴史を知り、現在の環境に感謝したり、今後の後輩たちに引き継ぐ責任を感じたりと、この「節目」を機会に、「感謝の気持ち」「責任感」「協力すること」など、子供たちの成長につなげていけるよう誠心誠意取り組んでまいります。



(右上に続く)

文責：副校長 西村 孝法

## 羽ばたき祭、盛り上がりました！

令和5年12月1日・2日に、「羽ばたき祭」を開催しました。御来校いただいた皆様、オンラインで御視聴いただいた皆様、ありがとうございました。多くの方に、子供たちの頑張る姿を見ていただきました。本番当日が近付くにつれ、子供たちの舞台発表や販売に取り組む熱量も増し、準備にも気合が入る様子が見られました。一方、緊張や不安感を抱く子供もいましたが、教員の指導・助言、そして仲間同士の支え合いなどで、不安を感じつつも前向きに頑張ろうとする子供たちの姿に、これも「節目の一つ」だとあらためて感じました。羽ばたき祭終了後には、子供たちの表情に達成感や満足感が見られ、まさに「節目での成長を感じた瞬間」でした。



保護者の皆様には、衣装の準備や健康管理など、御協力をいただきまして本当にありがとうございました。

## 教員の専門性向上

×(旧ツイッター)でもお知らせしましたように、12月末の学校では、今後に向けて下の研修を通し、「教職員の専門性向上」に取り組んでいます。

- ◆12月22日(金)  
人権研修「児童・生徒へのかかわり方」  
講師：本校主幹教諭(校内研修で実施)
  - ◆12月25日(月)  
学習指導要領に基づいた各教科及び合わせた指導に関する研修  
講師：東京学芸大学 菅野 敦名誉教授
  - ◆12月26日(火)  
keep safe研修会 人権教育 ～性教育～  
講師：白梅学園大学 堀江 まゆみ教授
- ※ keep safeとは、性問題行動にも対応したプログラムです。

専門性の高い講師を招き、教員の専門性向上を図るとともに実際の指導に生かすよう取り組んでおります。

学校だよりはHPIにもアップされています。感想等ございましたら、連絡帳等を通してお聞かせください。